

ぽらりす

≪2025 年6月1日発行/毎月初めに天文台職員が情報発信します≫

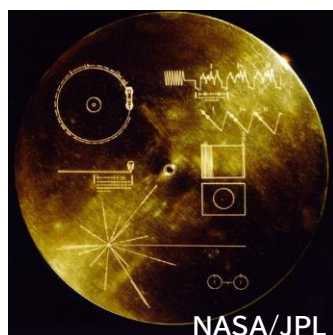
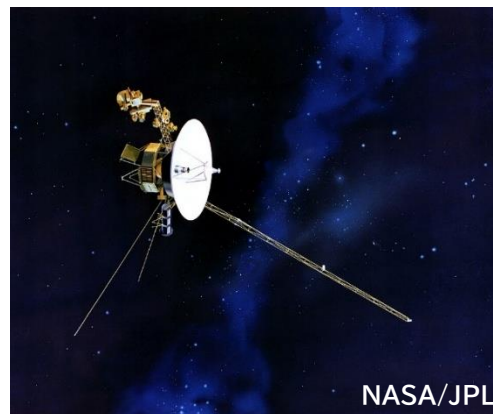


惑星探査機ボイジャーをご存じですか？

今年で天文台勤務 4 年目になります横山明日香(よこやまあすか)と申します。

私は、小学校低学年のころ、惑星探査機ボイジャーからの木星や土星の映像に魅了され宇宙に興味を持ちました。

惑星探査機ボイジャーは、1977 年 NASA(アメリカ航空宇宙局)により打ち上げられ、1 号 2 号の 2 機が現在も稼働中です。ボイジャー1号は 2025 年現在、地球から約 250 億km離れた場所に位置し、地球から最も遠くにある人工物となっています。ボイジャー2号の現在地も地球から約 210 億kmと、2 機とも太陽圏を出て恒星間宇宙を移動しています。



この 2 機のボイジャーがそれぞれ搭載している「ゴールデンレコード」には、地球上の様々な自然の音や日本語を含めた 55 種類の言語による挨拶などが録音されており、いつの日か宇宙人に解読されることを期待されています。このゴールデンレコードには、J.S.バッハの楽曲も記録されており、それを提言した佐治晴夫(さじはるお/理学博士)氏は現在、美瑛町の美宙(みそら)天文台の名誉台長です。

私がボイジャーの業績の中で最も感銘を受けたものは、ボイジャーが宇宙空間から撮影した地球の写真です。この写真は「ペイル・ブルー・ドット(淡い青い点)」と名付けられており、1990 年に地球からの距離 60 億kmのところから撮影されました。太陽光線の筋の中に、小さな点として地球が写っています。

この写真について、ボイジャー計画のリーダーであった天文学者、カール・セーガンはこう述べています。

『遠く離れた場所から地球を見ると、ささやかな点にしか見えない。しかし、これが故郷であり、私たちの姿である。

喜びと苦しみの全て、人類の歴史の全てがここにある。

考えてみてほしい、この点のような星の上で、私たちはどれほど誤解しあってきたか。激しく憎みあってきたか。

私たちは宇宙の中で特別な存在だという錯覚を、このささやかな光の点が教えてくれる。

私達の地球は宇宙の闇の中の孤独な星でしかない。

天文学は私たちに謙虚さを教える学問である。

私たちはお互いを尊重し、たった一つの小さな故郷を大切にしていかなければならない』

(カール・セーガン著「The Pale Blue Dot(邦題「惑星へ」)より抄訳)

(横山明日香)



「星を身近に」

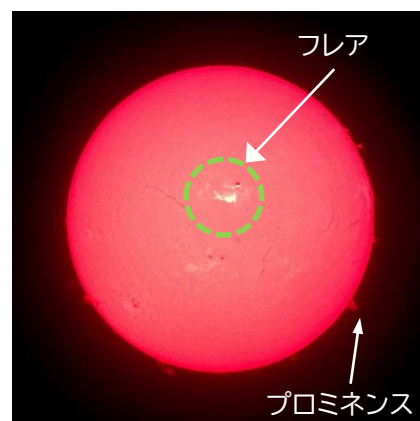
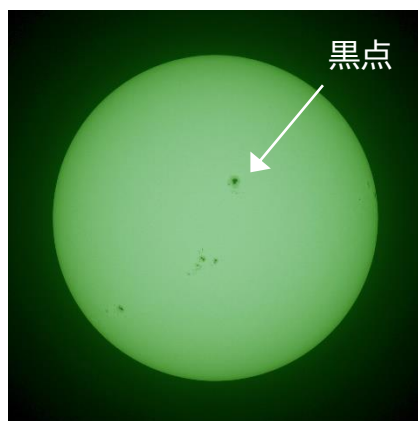
何気なく見上げた空に星が輝いていると嬉しくなりませんか。星の名前や名前の由来などが分かったら更に星を見ることが楽しくなります。

遅れましたが4月から札幌市天文台に勤務することになりました岩槻希美(いわつきのぞみ)と申します。宇宙系の漫画や映画が好きなことと大きな望遠鏡を操作してみたいという好奇心だけは自信がありますが、天文についての知識はまだあまりありません。そのため今必死に勉強中です。覚えることが多く大変ですが、望遠鏡で星を見つけると毎回感動してしまいます。天文台で実物の星を見ていただき、今まで星をあまり見る機会がなかった方にも星を身近に感じるきっかけになると嬉しいです。

夜間公開では季節の星座の観望を行っていますのでお気軽にお越しください。(曇りの日は星の観望はできず説明だけになります。)

「昼間の天文台」

札幌市天文台は10:00～12:00、14:00～16:00の昼間も公開していて、主に太陽の観望を行っています。身近で当たり前にある太陽ですが、天文台の望遠鏡で黒点やプロミネンスを見ると感動される方が多いです。昔教科書で習った感じがしますが、ぜひ実際にレンズをのぞいて本物を確認してみませんか。



2024年10月9日 札幌市天文台にて撮影

黒点…太陽の表面に現れる黒っぽいシミのように見える部分。周囲より温度が低く、黒く見えます。

プロミネンス(紅炎)…磁力線によって高温のガスが持ち上がり炎のように見える現象です。

フレア…太陽の表面で時々起こる爆発で、赤色光を観察する望遠鏡では白く輝く光のように見えます。地球の通信障害やオーロラ発生の原因となることもあります。

太陽は巨大な磁石のような性質を持っていて磁場があります。この磁場が乱れることで太陽のガスが動かされ、プロミネンスやフレアのような活動が引き起こされると考えられています。

そのようなことは知らなくても太陽を望遠鏡で見るととても美しく、黒点の数・形・大きさ・位置は毎日変わります。お散歩の途中にぜひ今日の太陽を見にいらしてください。

(岩槻 希美)

☆ 6月の夜間公開 (予約は不要です。公開時間内にお越しください。)

6日(金)～ 8日(日) 20～22時 月・火星・春の星座

※ 休台日は、2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月) です。